

つくしんぼ

第282号

発行 佐渡福祉会、岩の平園保護者会、第二岩の平園保護者会
佐渡市上新穂1256番地 電話 0259-22-3880 URL <http://sadofukushikai.jp>



新年のご挨拶

佐渡福祉会 理事長 弾 正 俊 一

明けましておめでとうございます。皆様お元気で新年を迎えられたこととお慶び申します。

さて平成最後の年、そして新しい年号のもとで活躍する年となりましたが、皆様新年にあたりどのような抱負を抱かれたでしょうか。私は次の三点について考えてみました。

一つは福祉サービス事業所における工賃のアップです。

今は残念ながら我々の施設の工賃は新潟県の平均工賃以下です。私は理事長在任中に我々の施設の工賃を全国平均に近づけたいと思っています。

幸いなことに、二〇〇坪の土地を八幡地内に寄付していただいたこともあり、計画は着々と進行しております。うまくいけば二〇二〇年春には新規事業が営業開始となる予定です。お店に併設してみんなでお話をしたり、利用者の芸術作品を鑑賞したり出来る場所も用意しますので是非皆様のお力添えをお願いいたします。新しい施設では利用者の工賃アップを目標とすることは勿論、我々の存在・活動をより多くの健常者の方に知ってもらうための努力もしていくつもりです。

二つ目は利用者の地域生活への移行という問題が我々の入所施設にどのように影響していくかということです。このことは利用者の高齢化と相まって我々の施設の存亡に関わる大事な問題ですので職員一同真剣に勉強していく所存です。

三つ目は生活介護事業として入浴サービスを実施していますが利用者には非常に人気のあるサービスです。今のところ一〇〇%の利用率ですがもっと多くの方に喜んでもらう画期的方法はないかを検討していきます。

以上三点を中心に中期計画に沿って、そして皆様のご要望に応えて、平成三十一年も頑張りますので職員一同よろしくお願いたします。

平成三十一年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますように……。

第35回 岩の平園祭を終えて

岩の平園祭実行委員長 若林 幸子



十月二十八日、第三十五回岩の平園祭が開催されました。

園内では、各施設の利用者の方が日中活動で制作

した作品の展示や、販売が行われました。例年好評を頂いている模擬店、各種バザー、島内の福祉作業所による様々な種類の商品が並び賑わいをみせていました。

今年度は、催し物を三部構成にし午前中に行いました。元気いっぱい瓜生屋子供鬼太鼓で幕を開けました。素敵な音色を奏でてくださいましたピアノアンサンブルに、皆さんうっとりとしていました。最後に練習



の成果を披露した華やかな利用者の方々の舞踊、大黒舞で午前の部は終わりました。その後は、体育館を飲食スペースとして開放し来園者の方に寛いで頂きました。午後は、私達佐渡福祉会を地域の方々により知っていただきたいと各施設の日中活動や行事の様子等をスライド

ショーとして作成し上映しました。照明を落とした体育館の中は、各施設の利用者の方の生き生きとした姿やたくさんの方の笑顔が溢れ輝いていました。天候が不安定な為、模擬店は屋内で実施することが決まり準備を行いました。当日は、雨が降ったり、止んだりといにくの空模様となり、二年連続での屋内となり大変残念に思いました。悪天候で肌寒い中でしたが、多くのお客様に来園していただきました。ありがとうございました。

最後にありますが、福祉バザーへご寄付をいただいた個人、団体の皆様、そして前日より多くのボランティアの方々にご協力頂きました。皆さまのお力で、今年度も岩の平園祭を無事に終えることができましたこと厚くお礼申し上げます。



岩の平園祭 福祉バザー寄付

- ・日本赤十字奉仕団(真野) 様
- ・日本赤十字奉仕団(羽茂) 様
- ・日本赤十字奉仕団(畑野) 様
- ・日本赤十字奉仕団(新穂) 様
- ・日本赤十字奉仕団(金井) 様
- ・佐渡市 手をつなぐ 育成会(真野地区) 様
- ・佐渡市 手をつなぐ 育成会(羽茂地区) 様
- ・佐渡ロータリークラブ 様
- ・社会福祉協議会(羽茂地区) 様
- ・藤栄工務店 様
- ・内藤電誠工業 株式会社 様
- ・氷室産業 様
- ・肉のエンドウ 様
- ・後藤薬店 様
- ・コープクルコ 様
- ・風間 昌子 様
- ・若林 美佐子 様
- ・牛原 由美子 様
- ・山本 満 様
- ・市橋 直吉 様
- ・土屋 千鶴子 様
- ・中村 睦子 様

岩の平園祭 ボランティア

- ・新潟県立佐渡高等学校 相川分校 様
- ・佐渡保育専門学校 様
- ・佐渡L.T会 様
- ・佐和田地区民生児童 委員会協議会 様
- ・三和福祉会 様
- ・土屋千鶴子 様

岩の平園祭 催し物協力

- ・瓜生屋鬼太鼓 様
- ・カワバタ美容室 様
- ・佐藤世子 様
- ・十河佐智子 様
- ・見留美帆子 様
- ・藤間綾若 様
- ・藤間綾志輔 様
- ・佐山三憲 様

ありがとうございました



平成30年度新潟県知的障害者福祉協会 会員研修会開催される

平成三十年度新潟県知的障害者福祉協会主催の全県会員研修会が平成三十年十一月一日〜二日にかけて両津の「あいぽーと佐渡」と「ホテルニュー桂」を会場に開催されました。共催をいただいた佐渡市より三浦市長様の歓迎の祝辞を始め、福祉協会からも小嶋眞会長のご参加をいただきました。

八年ぶりに佐渡開催ということ、年度始めより島内の福祉協会加盟事業所で実行委員会を立ち上げ開催に向けて準備に入りました。

全県からは六十一名の参加者があり、今年のテーマの「本人らしく」を支える意思決定支援について、より実践的に意思決定支援をどう現場で活用していくのかを最先端で活躍



されている、佐渡にも馴染み深い、法テラス埼玉法律事務所常勤弁護士の水島俊彦氏と佐渡市で実践されている、相談支援センターそらうみ本間奈美氏よりセッションも交えながら基調講演として、当事者のニーズの理由を深く考えたと新たな発想の方法も支援者として提案できるという事と答えにたどり着くよりも意思決定支援の過程を大切にしていける事についての講演を頂きました。実際にトーキングマットとカードを使つてのエクササイズでは大変熱中した様子が印象深かったです。

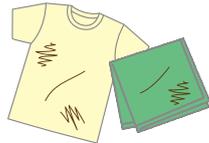
また、二日目の特別講演では佐渡総合病院院長、佐藤賢治氏より、「持続できる医療・介護・福祉提供体制を目指して〜佐渡島の取り組み」として少子高齢化が顕著に進む佐渡島の現状と課題に向けてどう取り組むのかの話があり、佐渡に限らず、どこ地域でも起こる事への提案であり大変有意義な内容でありました。この研修会の成果を持ち帰り、今後の業務に活かして頂ければ幸いです。

また、佐渡での研修会とあつて交流会は美味しい料理とお酒を囲んでの会で盛り上がりました。今回の研修に携わっていただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

平成三十年度知的障害者福祉協会
全県会員研修会
事務局代表 出崎 信博

★ウエスの材料を集めてます

あんずの家では、ウエスの材料となる古着・タオル等が大変不足しています。ご連絡頂ければ、回収にもお伺いします。ご協力お願い致します。



連絡先 あんずの家 ☎ 23-3303

★薪の販売をします

あんずの家、まつはらの家では薪の販売を行っております。配達も行いますので、お気軽に各事業所へお問い合わせください。

杉……一束 200円
雑木……一束 250円
檜……一束 350円

連絡先 あんずの家 ☎ 23-3303
まつはらの家 ☎ 52-4744

★パソコンを集めています

あんずの家、まつはらの家では、パソコン等の日本国内での再資源化を目指し、回収・分解・分別を行っています。使い終わったパソコン、サーバー等のパソコン周辺機器、携帯電話、ゲーム機が主な対象です。

情報漏洩対策も バッチリで安心!



情報漏洩対策として、出張解体を行っています。その場でハードディスクを抜き出し、傷付けを行います。出張解体もぜひお任せください。

▲情報漏洩対策
ハードディスク傷付け作業

連絡先 あんずの家 ☎ 23-3303
まつはらの家 ☎ 52-4744

佐渡福祉社会研修会

法人本部 山田 元章

当法人では年一回、全職員、理事、監事、評議員とともに島内福祉施設、行政、関係機関等にも案内する形で研修会を行っています。今年度は九月二十八日、トキのむら元気館において、長岡市の中越福祉会がおかホームの小林義明センター長に講師を依頼し、「障害福祉サービスにおける地域移行について」をテーマとして行いました。法人職員から七十三名、理事等、法人職員以外から四十四名、計一一七名が参加しました。

講義では、新潟県あけぼの園計画についての説明がありました。現在は定員五十名の入所施設ですが、新設するグループホーム八か所にまると移行する計画として、昨年から六年計画で行われています。慣れた職員（現在、入所施設で勤務している職員）による支援、コールセンターによる緊急時対応、日中活動の場の提供、看取り機能の整備、医療・介護との連携等によって、現在よりも良い生活、安心できる生活を目指しています。保護者からの反対意見も出しましたが、当事者、保護者等の意向を大切にするという方針のもとに進めているという話がありました。参加者からは、数年後、グループホームへの移行が行われた後に改めて状況報告をしてほしいという要望もありました。また、強度行動障害の利用者の地域生活移行への事例では、うまくできなかった対応も含めて紹介されました。職員が利用者とともに勉強していく姿勢も大切であることに気付いたという話もありました。

今回の研修は、主に地域移行と強度行動障害の対応について、佐渡島内の利用者へのより良い支援にも活用できる内容でした。来年以降も今回と同じように、活用できそうなテーマを決め、講師から説明して頂く形での研修会を行いたいと考えています。

岩の平盆踊り大会



八月十七日、岩の平盆踊り大会が開催されました。

昨年は天候不良のため施設内の体育館にて利用者さんと職員のみでの開催となったこともあり、開催当日まで天候の心配をしながら日々の業務にあたっていました。その思いが通じてか、当日は天候に恵まれ岩の平園園庭にて開催することが出来ました。

会場設営や運営は岩の平園・第二岩の平園の職員が行いますが、利用者の方たちも何を着ようか悩む方、何時から始まるのかを気にしてい



る方、佐渡おけさを歌い始める方など開始にむけ大わらわでした。盆踊り大会が始まると新穂こがね会様の民謡にあわせ、楽しそうに踊ったり、穏やかな顔でその様子を眺めたり、一緒に民謡を歌ったり、利用者さんそれぞれの楽しみ方で盆踊りを満喫していました。吾湯鬼太鼓保存会様による鬼太鼓では、太鼓の周囲に集まり、食い入るように鬼太鼓を見ていらつしやる方もいました。鬼太鼓の終わりと共に大きな拍手が会場を包みました。

輪投げ、かき氷、ジュース、綿あめ、クレープ、焼きそばを模擬店にて提供しました。提灯の明かりが照らすお祭りの雰囲気の中で、輪投げに熱中し、かき氷や焼きそばをほおばりながら、いくつもの笑顔が会場を包み込んでいました。

利用者の方の高齢化、重度化に伴い地域の方と触れ合う機会も年々少なくなっている中、たくさんの方々にご来場して頂き、利用者の方と楽しい時間をすごして頂くことをとても嬉しくありがたく思います。地域に根付いたこの行事をこれからも大切に、来年もまた岩の平園の園庭にたくさん笑顔が広がることを願っています。

ご協力いただきました地域の皆様、ボランティアの方々、保護者の方々、ご来場いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

(第二岩の平園 後藤 大清)

～太鼓スポーツ in元気館～

岩の平園 コーナー



スポーツの秋、音楽の秋。講師の引き込むパワーと理解しやすいアドバイスに、気付くと汗をかきほど熱中して太鼓・ラダーゲッター・フリーブローを楽しみました。みんなの笑顔と力強い太鼓の音に包まれた楽しいひと時となりました。



～グループ外出～

小グループに分かれて島内外出に出かけました。天気にも恵まれ、散策を楽しんだり佐渡金山へ出かけたりとそれぞれのグループで行程を考えて楽しみました。たくさん歩いた後の食事はより一層美味しく感じました。



第二岩の平園 コーナー

～生け花体験～

生け花の先生を招いて、生け花の体験をしました。普段はなかなかできないこと

なので、少し難しかったかもしれませんが、色々な種類の花を手に取り、楽しく作品を作ることができました。



～パンケーキ作り～

食欲の秋、今年はみんなでパンケーキ作りに挑戦しました。出来上がったパンケーキは午後のお茶会でコーヒーと一緒においしくいただきました。自分達で作ったパンケーキにみんな大満足。



あんずの家 コーナー

～海の祭典～

8月5日海の祭典に参加させていただきました。

海水浴を楽しむ利用者は少なかったですが、ゲームを楽しんだり、カラオケで十八番を歌ったりと一日、楽しい時間を過ごすことができました。



～ふるさと訪問～

11月6日、ふるさと訪問に参加しました。あいぼーと佐渡へ行き、講師の方に教えていただきながら椅子に座り、レクリエーションを楽しみました。また、しゃくなげでは、さわやかさんのカレーライスをいただき両津吉井保育園の歌やお遊戯を見たりしました。また、利用者さんによるカラオケ大会では、自慢ののどを披露し満足した様子でした。

～長寿のお祝い～

渡邊勝治さん（還暦）、森田敏起さん（古希）をお祝いしました。おめでとうございます。これからも元気で元気に通所してください。



～夏だ!海だ!～

毎年、ライオンズクラブ様からのご招待を頂く海の祭典。今年もみんな大喜びで参加!

長石海岸での海水浴。遠浅な海で浮き輪でプカプカ～おいしい料理にカラオケなどまぶしい太陽と共にみんな笑顔の一日になりました。

まつはらの家 コーナー



～焼き芋会～

まつはらの家では春から夏にかけ畑でいろいろな種類の野菜を収穫しました。収穫した野菜は、イベントなどで販売し、お客様から喜ばれています。

秋には収穫したサツマイモで恒例の焼き芋会を開催。準備万端!!と思った瞬間、外は大雨・・・。

今年は焚火にあたり、とはいきませんでしたが、室内で甘いお芋をいただき、ほっと一息できる時間を過ごしました。



そよかせ コーナー

～納涼会～



8月22日、じっとしていても汗が全身からじわじわと湧き出てくるそんな猛暑日の中、そよかせ納涼会が行われました。当初は中庭にテントを張って行う予定でしたが、外は35度を超えて湿度も高かったため、飲食やゲームは室内で執り行ないました。

模擬店では綿あめ・かき氷・ポップコーンが用意され、職員の汗も加わった塩加減が良かったのか「おいしい！」との声があちこちから聞かれ、ゲームでもらった景品を大事そうに手に抱えながら、笑顔のあふれる納涼会となりました。



～秋のドライブ（紅葉狩り）～



10月16日、22日、24日と三班に分かれて、紅葉山（畑野）までドライブに出かけてきました。三日間ともお天気に恵まれて、風もなく暖かい日となり最高のドライブ日和となりました。



肝心の紅葉は色付き始めたばかりで少し残念でしたが、海を隔てた向こうに弥彦山もくっきりと見え、楽しいドライブとなりました。

第八回 佐渡ふれ愛フライングディスク大会



毎週末、台風が上陸し、多くの被害をもたらした今年の秋。すでに大型で非常に強い台風二十五号が沖繩に接近し、天候が心配された十月五日、「第八回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」が佐渡市陸上競技場で行われました。

佐渡市障がい者スポーツ協会と共催で十一施設・団体から六十八名の選手と十九名の支援者、「伝統文化と環境福祉の専門学校」より六名の学生、他に新潟県障害者スポーツ指導員やフライングディスク公認指導者等、多くの方々に参加・協力をいただきました、盛大に行われました。

今回はアキュラシー競技の五m（五m先にあるゴールに十回投げて通過した数を競う）とディスタンス（三回遠くへ投げて距離を競う）の他、団体戦として代表の選手二名と支援者一名の三人一組で、アキュラシーの三m&五mそして十mを各十回ずつ投げ、その合計点（三十点満点）を競いました。

その結果、アキュラシー競技の五mでは九点の方が一名、ディスタンス競技では、初出場が一番若い選手が四十八m六十七cmを投げて喝采を受けていました。また団体戦は岩の平園Aチームが十五点で優勝しました。初めのアキュラシーの十mという手・支援

園Aチームが十五点で優勝しました。初めのアキュラシーの十mという手・支援

者共々かなり苦戦している様子でした。そして十m先のゴールをディスクが通過する毎に大歓声が上がっていました。

さて、来年度も五月に「第八回佐渡フライングディスク大会」を、十月に「第九回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」を開催する予定です。この佐渡市陸上競技場のグラウンドで快晴のもと、より多くの選手や支援者の参加を得て、より盛大に大会を行いたいと思います。誰でもウエルカムです。多くの方の参加をお待ちしています。一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

また、当協会ではフライングディスク用具の貸し出しを行っております。事務局（岩の平園 TEL 二二二―三八八〇）まで連絡を下さい。

ところで皆さん、当協会の会員になりませんか。三月二日（三日）、障害者フライングディスク指導者養成講習会を開催する予定です。フライングディスク指導の基礎から応用まで、また大会の運営方針や審判法を楽しく学習できる講習会です。多くの皆さんに受講していただき、公認指導者の資格を取得してもらい、私たちと一緒に活動しましょう。詳しくは事前に事務局まで連絡をください。よろしくお祈りします。

（新潟佐渡障害者FD協会事務局 矢本）



7月～12月の寄付・寄贈者

▼法人本部

・新穂地区 柴山理容店 様

▼岩の平園

・相川地区 坂下忠廣 様

・新穂地区 土屋千鶴子 様

・金井地区 佐渡金井キリスト教会 様

・佐和田地区 有限会社コンドーシステム 様

▼第二岩の平園

・羽茂地区 藤栄工務店 様

・新穂地区 大葉一松 様

▼まつはらの家

・両津地区 佐渡建築工業(株) 様

・相川地区 坂下 様

・佐和田地区 佐々木 様

7月～12月のボランティア

▼第二岩の平園

・金井地区 ベルマン美容室 様

・真野地区 相田朋夏 様

・相川地区 淵上秤 様

▼あんずの家

・金井地区 佐渡保育専門学校 様

・金井地区 伝統文化と環境福祉の専門学校 様

利用者状況

《岩の平園》

○入所：岩脇輝夫さんが十二月一日に入所されました。どうぞよろしくお願いたします。

おくやみ



《第二岩の平園》

八月十五日、鶴間勲さんがお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

佐渡国際トライアスロン大会

9月2日、今回で30回目を迎えた佐渡国際トライアスロン大会に「佐渡福社会」チームとしてリレータイプに参加しました。岩の平園からは本多義治さんがランの種目に参加しました。

沿道からの暖かい声援を力に、厳しい暑さに負けることなく、無事に完走することができました。

ご声援をいただいた皆様、ありがとうございました。



平成30年度 職員動向

I 異動 (12月1日付)

氏名	現職名	前職名
長藤 孝修	岩の平園 技能労務員	あんずの家 支援課支援員

II 新任

氏名	職名	採用日
大水 博善	第二岩の平園 庶務課調理員	7月1日付
村松 雅子	そよかぜ 支援課支援員 (世話人)	7月12日付
和田 多実男	岩の平園 支援課支援員	10月1日付
本間 幸代	そよかぜ 支援課支援員	11月1日付

III 退職

氏名	職名	退職日
山下 アサ	そよかぜ 支援課支援員 (世話人)	6月20日付
渡部 夏織	第二岩の平園 支援課看護師	7月31日付
丹穂 富美子	そよかぜ 支援課支援員 (世話人)	11月30日付

短歌

腰痛の妻へお礼をもらふため

今年は一人初詣する

俊一

